

住まいのニュース

Vol.56

ライフスタイルを考えた照明器具の選び方

照明器具の工夫で、空間と生活シーンを演出

当たり前のように点けている部屋の照明。その照明も器具や手法によって温かさ、落ち着き、くつろぎなどさまざまな雰囲気を演出することができます。生活シーンにあわせた照明器具を選べば、暮らしの空間をおしゃれで機能的に演出することができます。



照明器具選びのポイント

新築の場合、照明器具選びは家の設計段階から始まります。既設の器具に取り付けできる照明器具もありますが、空間のデザインを考え、壁や天井、柱と一緒にしている照明器具の場合は後から取り付けできません。工事後に照明器具を追加したり位置を変更しようとすると工事のやり直しにもなりかねず、費用負担も増えます。特にデザインにこだわった「建築化照明」や「一室複数灯」などを導入する場合には、建築計画に照明プランを加えることが重要です。

具体的な照明器具の選び方

照明器具の種類や照明手法などによって、部屋の雰囲気は大きく変わります。



照明（光源）の種類と使い分け

住まいを使う主な照明（光源）には蛍光灯やLED照明があります。その違いと特長を知り、目的に応じて使い分けましょう。特にLED照明は、寿命が長い、消費電力が少ない、器具がコンパクト、紫外線や熱をほとんど出さないなどの特長があります。

あかりの演出

■建築化照明

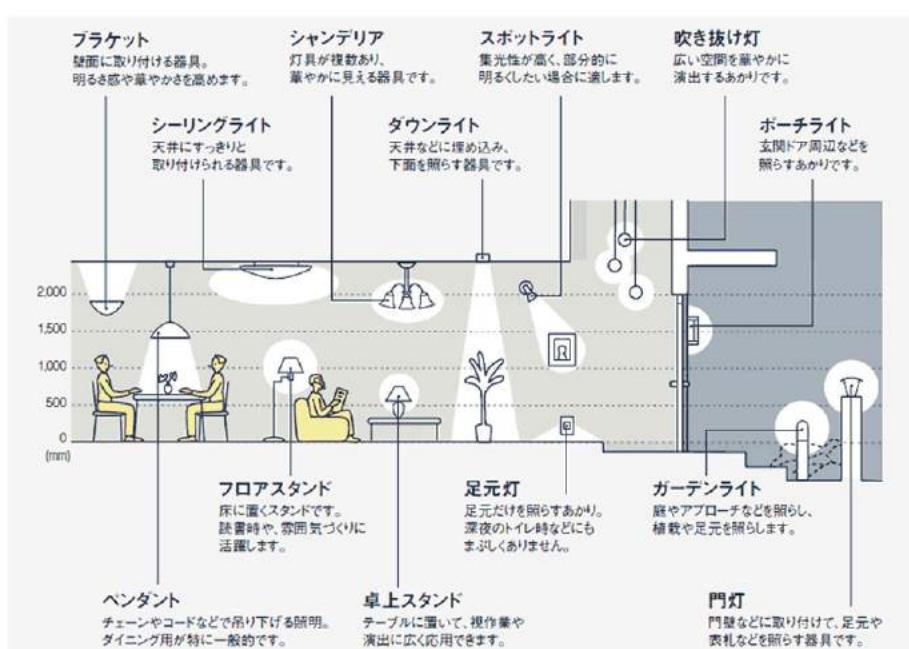
天井や壁、柱などの建築構造物に照明器具を埋め込み、建物と一緒にした照明を建築化照明と言います。照明効果を含めた空間全体をデザインするため、より質の高いあかりの空間が得られます。

■一室複数灯

リビングや居室など、一室で色々な生活を楽しむスペースには、複数の照明を組み合わせてさまざまな雰囲気を演出することができる、「一室複数灯」をおすすめします。必要な照明器具だけを点灯することで、省エネにもつながります。

照明器具のスタイル

照明器具には多くの種類（スタイル）があります。それぞれの特長を知って、雰囲気づくりに役立てましょう。



建設中現場のご紹介



S様邸(丹波市)



I様邸(福知山市)



N様邸(福知山市)



K様邸(福知山市)



U様邸(篠山市)



T様邸(福知山市)



M様邸(福知山市)



A様邸(篠山市)



K様邸(綾部市)



N様邸(舞鶴市)

住宅事業部 STAFFコラム



今回の担当は、

プランナー
水島 風花 です。

寒さが特に厳しくなり暖房が欠かせないこの時期、室内の乾燥が酷くなり、朝起きると喉がガラガラになっていることも。体調を整え、元気に過ごすために室内の乾燥対策をしましょう♪

加湿器がなくても大丈夫○ 家にあるものすぐできる 冬の乾燥対策！



マフラーにコート、ブーツなどで目いっぱいオシャレをしたり、イベントやセールに出かけたり、はたまたお家ではコタツでゆっくりしたり…と、冬は楽しみがいっぱい。しかし、その一方で空気の乾燥で体調を崩しやすく、美容に悪影響が出る厄介な季節でもあります。そこで加湿器を使わず、どの家にでもあるもので手軽にできる加湿方法を紹介します。

簡単にできる加湿方法

室内干して空気を潤す

洗濯物に含まれる水分が蒸発して室内の空気を潤してくれます。



霧吹きで水分を補給

霧吹きで、水を空中や布製品などに吹きかけると速攻で保湿効果があります。

床や窓を水拭き

床の掃除を掃除機から水拭きにチェンジ床についた水分が蒸発して空中を潤してくれます。また床の他にも窓、家電なども良いでしょう。



お湯を沸かす・お鍋をする

ヤカンにちょっと多めに水を入れて蓋をせずにお湯を沸かすと、簡単に加湿できます。また、天板にヤカンを置けるタイプのストーブを使用している家庭であれば、ヤカンを置きっぱなしにしておくのも◎。

暖房器具は石油ストーブを使おう

石油ストーブは石油を燃焼する際、水が発生するため加湿効果があります。石油ストーブの上でお湯を沸かすとより空気が潤います。

植物を活ける

植物は、根っこから水分を吸った後、葉の裏から水分を放出します。土植えの植物でもOK。



お家づくりの参考に
ぜひ、ご覧ください♪



省エネの工夫で
消費エネルギーを減らし、
使うエネルギーは自ら創り出す。
究極のエコロジー住宅です。



内装・外装材全て自由にデザインも
思いのままに楽しめる遊び心満載の家
ご家族の想いをカタチに
心地よい暮らしを実現します。



安心機能が全てセットの
セレクト定額制プラン。
家づくりに精通したヨネダから
自信を持っておすすめする
ベストプランが詰まっています。

